

## 2017年度 幼保連携型認定こども園めぐみ幼稚園 自己評価結果表

対象: 正規教職員 12名

			良い	普通	できてない	
			A	B	C	
I	保育の計画性	1	園の教育理念・保育理念	46.8%	46.8%	6.4%
		2	教育課程の編成	50.0%	40.0%	10.0%
		3	指導計画の編成	56.4%	41.0%	2.6%
		4	環境の構成	50.6%	41.2%	8.2%
		5	保育と計画の評価と反省	57.6%	35.6%	6.8%
			<b>平均</b>	<b>52.3%</b>	<b>40.9%</b>	<b>6.8%</b>
II	保育の在り方と幼児への対応	1	健康と安全への配慮	73.1%	24.7%	2.2%
		2	園児のみとりと理解	58.3%	36.9%	4.8%
		3	指導とかかわり	71.0%	28.4%	0.6%
			<b>平均</b>	<b>72.1%</b>	<b>26.6%</b>	<b>2.5%</b>
III	教師としての資質	1	専門家としての能力	54.2%	35.4%	10.4%
		2	良識とマナー	68.1%	31.9%	0.0%
		3	義務	69.4%	29.0%	1.6%
		4	組織	70.8%	27.8%	1.4%
		5	感性	70.8%	29.2%	0.0%
			<b>平均</b>	<b>66.6%</b>	<b>30.7%</b>	<b>2.7%</b>
IV	保護者への対応	1	情報の発信と受信	68.4%	28.9%	2.6%
		2	協力と支援	69.4%	30.6%	0.0%
		3	守秘義務の遵守	100.0%	0.0%	0.0%
		4	対応上のマナー・常識	71.8%	26.8%	1.4%
		5	クレームへの対応	80.0%	16.0%	4.0%
			<b>平均</b>	<b>77.9%</b>	<b>20.5%</b>	<b>1.6%</b>
V	地域者とのかかわり	1	地域の自然や人々との関わり	31.3%	37.5%	31.3%
		2	小学校のとの連携	20.8%	50.0%	29.2%
		3	地域への解放と支援	20.6%	35.3%	44.1%
			<b>平均</b>	<b>24.2%</b>	<b>40.9%</b>	<b>34.8%</b>
VI	研修と研究	1	研修・研究への意欲	48.3%	48.3%	3.4%
		2	教師としての専門性	27.8%	46.3%	25.9%
		3	遊具・教材	34.5%	45.5%	20.0%
		4	園舎・園庭	30.6%	51.0%	18.4%
		5	今日の課題	24.2%	52.6%	23.2%
		6	自らを高めるために	40.6%	15.9%	43.5%
			<b>平均</b>	<b>34.3%</b>	<b>43.3%</b>	<b>22.4%</b>

### <理事長所見>

- 自己評価は相対評価ではなく絶対評価であるので本人の意識によって差が出てくる。
- 保護者への対応と保育の在り方が70%代であり、先生方の努力が見て取れる。
- 悪い方の評価は「地域とのかかわり」と「研修と研究」であった。
- Ⅲの「教師の資質」の分野は、謙遜さがあるのではないか。
- Iの保育の計画性には、キリスト教保育の在り方の方向性を打ち出せていないのかもしれない。

### <園長所見>

- 合計137問の問いに答えていく中で、出来る自分、こうありたい自分の意識が交錯した結果になっていると思う。
- 年に1度実施することによって、振り返りの時が持てることは良い。
- 保育のあり方と幼児への対応は70%台であり、先生方の努力がうかがわれる。
- 地域社会との関わりは、今後の課題である。
- 研修と研究は、幼保連携型認定こども園になり3年目を終えたところであり、整えていく必要がある。